

競技注意事項

投てき競技会

- 1 本大会は、**2018年度日本陸上競技連盟競技規則および大会要項**によって行う。
- 2 ナンバーカードはユニホームの胸・背に確実につける。
- 3 ウォーミングアップは北陸上競技場を使用できる。
トラックは駅伝強化長距離競技会が行われているので競技に支障のないよう注意する。
ホームストレート及びフィニッシュ付近は使用できない。
投てき練習は、競技開始前に競技役員の指示で実施する。
- 4 競技運営の関係ですべての競技の試技数を3回とする。
- 5 招集について
 - (1) **招集は各ピット**で行う。他の種目に出場のため招集時間にこられない場合は、事前に投てき主任に申し出る。
 - (2) 招集時間は、当該競技開始時刻を基準とし、**40分前～30分前**とする。
- 6 競技場への入退場は、トラック競技が行われているので注意して行う。
- 7 競技用器具について
 - (1) 投てき器具は競技場所有のものを使用する。
 - (2) やり投の助走路に使用できるマークは主催者が用意したマークを2個まで置くことができる。
またサークルから行う投てき競技、マークを1個だけ使用できる。
- 8 やり投のスパイクピンの長さは12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。
- 9 その他
 - (1) 更衣室は更衣のみに使用し荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。
 - (2) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。
 - (3) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室**において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
 - (4) **カメラ・ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校と選手の家族を除き必ず本部で許可を受けること。**

※ 参加選手が多く競技時間が遅くなります。

また、競技がスムーズに進むように協力をお願いします。